

【学生による ESD 活動支援】

大牟田市立みなと小学校 第1回オンライン学習交流会 活動報告書

音楽教育専修3回生 狗飼 菜々子

1. 日時 2020年10月14日(水) 13:10~13:40
2. 場所 Zoomによるオンライン会議
3. 参加者 学部3回生 狗飼 菜々子(音楽教育専修)、足立 繁郁(社会科教育専修)
学部2回生 井原 奈佑(幼年教育専修)
学部1回生 松岡 花(音楽教育専修)、木下 結等(教育学専修)
次世代教員養成センター 准教授 中澤 静男、特任准教授 大西 浩明
大牟田市立みなと小学校 みなと ESD 進め隊! 児童・教員
4. 内容 ①みなと ESD 進め隊!の児童と本学ユネスコクラブ学生の顔合わせ
②ユネスコクラブ学生による、奈良の紹介(東大寺・春日山原始林など)
5. 活動を通した学び

2020年10月14日(水)13時から、Zoomによるオンライン会議で福岡県大牟田市立みなと小学校との交流会を行った。大牟田市立みなと小学校は先日の豪雨被害を受けた福岡県の小学校で、ユネスコスクールでもある。コロナ禍である今、同じユネスコスクールである奈良教育大学の私たちが子どもたちのために何か出来ることはないかと、YouTube上でのビデオメッセージなどで交流を行っており、今回オンラインでの交流会が実現した。みなと小学校サイドの参加者としては、ESDに興味のある、幅広い学年の児童が参加した。

私が今回の活動を通して学んだこと、感じたことは三つある。

一つ目は、コロナ禍でも自分たちが出来ることはないかと考え、行動を起こすことの大切さである。本当であれば被災地へ足を運び、直接支援を行えば一番良かったが、今回は新型コロナウイルス感染症の影響でそれが出来なかった。それでも、自分たちが今できる最善の方法を考え、行動した結果、このようなオンライン交流を行うことができた。今回の交流会が今後続いていくことで子どもたちの支援が出来ればと考えている。

二つ目は、子どもたちの反応が想像以上に良く、企画してよかったと心から感じたことだ。今回の交流会では、私たち学生から奈良教育大学について、ユネスコクラブについて、そして東大寺と春日山原始林についてクイズなどを交えながら、スライドを使って紹介した。どのような企画にすれば子どもたちに喜んでもらえるかを考えながら、学生同士で1か月以上準備を行ってきたため、実際に楽しそうにしている子どもたちの表情を見たときは安堵感でいっぱいになった。

三つ目は、子どもたちと関わる際の話し方、スライド作成の工夫である。私自身、これまであまり小学生と直接関わる機会が多かった訳ではなく、当日まで不安と緊張でいっぱいであったが、子どもたちが見やすいスライドになるよう、他の学生にアドバイスをもらいながら準備を行った。話すスピードも速くならないよう、子どもたちが安心できるようなトーンで話すことを心掛けた。

交流会は今回で終了ではなく、継続的に行っていくことが決まっている。次回は今回の交流会以上に良いものになるよう、また準備を行っていきたい。



第1回オンライン学習交流会の内容